

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 守恒 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

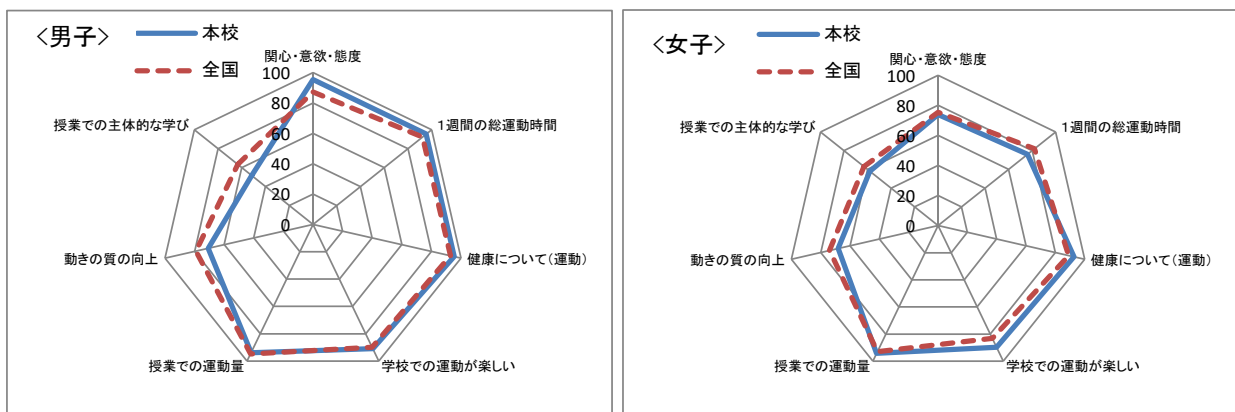
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- 男女ともに、保健体育の授業で運動することを楽しんでいる。また、運動の必要性について理解している。
- 授業での運動量は確保できているが、女子は授業以外での運動が不足している。
- 主体的な学びや自分自身の動きの質の向上ができていないと感じる割合が低い。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

- 各競技の活動の中で体力向上を図るため、密接・密集をなるべく避けながら活動量を確保できるように工夫する。
- 主体的な学びにつなげるため、各自の目標設定や必要なトレーニングを考えて学習カードなどに記録を残していくようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 保健体育の授業を中心に、自宅でもできる体力づくりのための運動を行い、健康的な生活習慣へのはたらきかけをおこなう。PTA総会、保護者懇談会、ホームページ等で家庭への周知を図っていききたい。